

### 北見雪夫氏著 「渡り鳥」を讀む(一) 福田將夫

四ツ辻に刷りつけてある  
メデービラが  
貧しい心を  
赤化してゆく  
北見雪夫氏の第二口語集  
「渡り鳥」を手にする誰  
もはまず開巻第一のこの歌  
に心をひかれるであらう。  
私も俳味ゆたかな包紙や、  
黒地に赤い色紙を配した表  
紙や、さし書界の重寶、由  
口將吉郎氏の扉繪の一才變  
つた露風など、總べて盡家  
であるところの著者が自ら  
擬らした装釘の、しつとり  
とした重みを感じながら  
の一首にいまさらその餘か  
な氏の姿をばつかりと思ひ  
うかべ、何處も何ん處もく  
りかへして味つた一人であ  
る。

「渡り鳥」一巻に收められ  
た歌集約四百首編、越後  
北海道とそれに權太を加へ  
て變化多い三年、しかも  
そのいづれも雪雲を背景に  
した惱も多き近代的愁鬱と  
透徹した人生觀とを、清新  
自在なる表現技巧によつて  
歌ひ出されてゐることは、  
私からいふまでもないもの  
一つである。

今、この歌集する氏の寶  
玉篇「渡り鳥」の一巻を机上  
に置かれて、しかも力弱く私  
が批評めいたペンをにぎる  
といふことは、あまりに大  
それたことではあるが、そ  
れを通じて氏の金人格に觸  
れ作歌精進の上に自ら益し  
やとする希念と、また一人  
でも多くの人々に氏の姿で  
ある歌に親しむ機会を作ら  
せていたゞくことは、ま  
ら徒勞とも思へないので、こ  
の筆を執ることにした。な  
氏の一面をうつすに非ず  
よくあやまちなきやを愛ひ  
るものである。

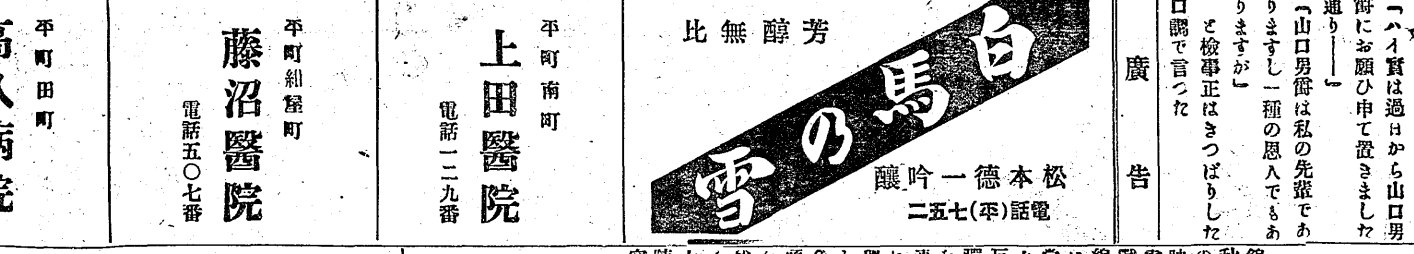
「春なれば」の一連二拾一  
首は氏の歌壇の革命を如實  
に表徴してゐる。本質的の  
新短歌藝術の風潮を第一義

引しはられた矢はへうよと  
放たれて白と黒との環を描  
かれたのを貫いたわびらの  
矢が中ば減つたところ家か  
ら書生が出て来た  
「先生、御來客でういます  
か……」  
「客、何方ぢや」  
と、検事正は弓を握つたま  
端を唇正は、長い口髭の一  
振り返つた  
「間と申す買家家で、先日  
山口男爵と御同席でたに  
づねになつた……」  
「間だぞ？」と、検事正は眉  
をしがめた  
「あの人は先達でも面會を  
拒絶してはなから。主人の  
は目下多用で……ハッカリ  
無健康を欠くことどもは三  
上に見舞ひをする時は何  
君人を便りにする時は何  
も鈍りを生ずすし……四  
増すべし物始め吉五黄  
を……」

心地向き秋が  
訪レマス  
秋向者尺  
モスリン  
帯側方深山  
入リマシタ  
ゼビ御用意ア  
三丁目  
龜田屋  
電毛

外より愛ひ争ひの生じ奉り  
易し世話等は注意六六六  
目に見へば手に取れず大  
望を起せば失敗七亦、石  
辛抱すべし八八日、出資の  
多くしてそれ丈の効果の  
果がらぬ九九紫、行ひ正  
しければ目上の助けありて  
大發展す

手の中、顔撫でまわし  
そのしぐさ  
猫のよだといはれ  
鳴き真似もする  
私はこの初めに於て  
清新自在なる表現技巧とい  
ふ言葉を、氏に對して用ひ  
た。氏の技巧は、こ



「ハハ、實は過日山口男  
爵にお願ひ申して置きました  
通り……」  
「山口男爵は私の先輩であ  
りますか？」  
と、検事正はきつぱりした  
口調で言つた

大日活會社が多大の費用  
を本邦最初の  
百二十パーセント級  
の愛のゆく末  
を……」

此のマーク！を  
レコードハ  
集募員店  
肉聲のビクターレコード  
販賣店 會田時計店  
平町四丁目(電話三三三番)

伊勢崎  
八王子  
足利  
優秀新柄銘仙陳列  
於階上  
十月三日ヨリ七日間  
秋冬物新柄特選陳列と実用品特賣  
モスリン着尺  
モスリン友仙  
入選新柄陳列  
於新館  
三井吳服店

こんな徴候の人は  
一時も早く治療すべし  
●血帯下赤帯下コシケ多き人  
●下腹痛、節張り又はつる人  
●子宮冷感、腰脚の冷た又は痺れる人  
●月經不順月經時に腹痛の人  
●神衰衰弱、メスリイの人  
●月經時の前後に白粘つたこしげが下る人  
●子宮痛、腰脚痛、頭痛の人  
●子宮瘻、腰脚痛、頭痛の人  
●逆上、頭痛、耳鳴、眩暈する人  
●肩が凝り又は背が痛む人  
●流産、早産する人

一日薬價僅か五錢の  
自宅療法  
救世の婦人薬  
美神丸は、四つ揃つた理想薬です  
定價表  
一週分 四〇  
二週分 八〇  
五週分 一、八〇  
十週分 三、五〇  
平町五丁目角  
地方代理店 山野邊藥局  
一町一村に一特約店を募集す  
速刻希望者は申込あれ

大和田醫院  
平町  
紺屋町 吉田科醫院

高久病院  
電話五二三番  
藤沼醫院  
電話五〇七番  
上田醫院  
電話二二九番  
比無醇芳  
雪の馬白  
釀吟一徳本松  
二五七(平)話電

平の夜の銀座に 露店絶対禁止

夜の平町を一層賑はしてゐる。露店商人に對して斷然...

肩爾傳習會

發達同業主催で 石城郡發達同業組合では昨...

未納金が殖える

石城郡各町村の郡農會費本に千三百六十九圓納まつた...

當局整理に苦心

石城郡各町村の郡農會費本に千三百六十九圓納まつた...

文證 三下り半

女房と戀は新しいほど人心が倦怠し。亂倫な行為...

植田繪畫展

菊花展も同時に 石城郡植田町地方には少壯...

平町の全戸數の 四分の三は貸家

家賃所得年八十萬圓 年五六萬圓の増加

資格申告

平町の衆議院議員並びに町 會議員選舉資格者名簿作製...

石城デンマーク 建設の下準備

錦村青年十名が 愛知縣下を視察

遠洋漁業船

石城郡江名町澤長之助氏は 今西洋型遠洋漁船を建造...

記者募集

中學校三年修業程度で 學力ある眞面目にして身...

石城米奔騰

米作思はしからずと見て 但し永續は疑問

雄中野祝賀

六日平カフエで 平町の生んだ詩人中野野雄...

塔新磐

大野村白岩は松 茸産地として知...

高久病院

電話五二三番 内科小兒科 外科花柳病科...

高久病院 電話五二三番 内科小兒科 外科花柳病科...

單獨オーケストラ 吹く弾く鳴らす 小松教祐先生 演奏會

紺屋高尾て名高き 浪界第一の人氣者 篠田實師一行

靴の御新調は... 時節柄... 空前の安賣

新築落成 耳鼻咽喉科 氣管食道科 大和田醫院